Creative Enzymes®

ネイティブウサギエステラーゼ

Cat. No. NATE-0238

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エステラーゼは、エステルを酸とアルコールに分解する加水分解酵素です。
用途	ウサギの肝臓からのエステラーゼは、カルバメート系殺虫剤の毒性効果を調□する研究に使用されました。ウサギの肝臓からのエステラーゼは、シンバスタチンがリポタンパク質関連ホスホリパーゼAの発現と活性に与える影響を調□する研究にも使用されました。Creative Enzymesからの酵素は、二価金属イオンがエステラーゼの活性に与える影響を研究するために使用されました。
別名	EC 3.1.1.1; アリエステラーゼ; B-エステラーゼ; モノブチラーゼ; コカインエステラーゼ; プロカインエステラーゼ; メチルブチラーゼ; ビタミンAエステラーゼ; ブチリルエステラーゼ; カルボキシエステラーゼ; カルボキシレートエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; メチルブチレートエステラーゼ; トリアセチンエステラーゼ; カルボキシルエステルヒドロラーゼ; ブチレートエステラーゼ; メチルブチラーゼ; α-カルボキシルエステラーゼ; プロピオニルエステラーゼ; 非特異的カルボキシルエステラーゼ; エステラーゼD; エステラーゼB; エステラーゼA; セリンエステラーゼ; カルボン酸エステラーゼ; コカインエステラーゼ; 9016-18-6

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの肝臓
形態	トリスバッファー塩を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.1.1
CAS登□番号	9016-18-6
活性	> 75 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、25°Cで1分あたり1.0μモルのブチルエステルをブチル酸とエタノールに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C